

## 在日朝鮮人作家を読む会 会録（第1回～400回）

<1977年>

準備会 (1977・12・15) 参加者7名

<1978年>

第1回	(1978・1・29)	金史良作品集	報告者・磯貝治良	参加者12名（以下順同）
第2回	(2・12)	金史良「光の中に」「親方コブセ」	磯貝治良 藤森節子	9名
第3回	(3・19)	許南麒『火縄銃のうた』	岩田光弘	14名
第4回	(4・23)	金達寿『玄海灘』	隅田善四郎	12名
第5回	(6・4)	呉林俊『絶えざる架橋』	余 語 潮	13名
第6回	(7・2)	呉林俊『絶えざる架橋』	余 語 潮	10名
第7回	(8・27)	金時鐘『さらされるものとさらすものと』	安田寛子	11名
第8回	(10・15)	金泰生『骨片』	中山峯夫	8名
第9回	(11・12)	磯貝治良「境界からの光」	横田芙美子	12名
第10回	(12・17)	金石範『鴉の死』	竹内新	12名

<1979年>

第11回	(1979・1・21)	高史明『生きることの意味』	芝原由美子	12名
第12回	(2・18)	李恢成『またふたたびの道』	間瀬欣英	11名
第13回	(3・18)	李恢成『砧をうつ女』	中山峯夫	9名
第14回	(4・15)	金時鐘『猪飼野詩集』	川崎恵子	6名
第15回	(5・20)	金泰生『私の日本地図』	安田寛子	9名
第16回	(7・1)	金達寿『落照』	小室リツ	11名
第17回	(7・29)	金鶴泳『鑿』	蔡 太 吉	11名
第18回	(9・19)	金石範『ことばの呪縛』	郭 星 求	10名
第19回	(10・10)	討論「なぜ在日朝鮮人文学を読むか」		20名
第20回	(11・11)	討論「在日朝鮮人文学を読むとはどういうことか」		20名
第21回	(12・16)	講演と討論「いま在日朝鮮人文学を」話・金石範	磯貝治良	20名

<1980年>

第22回	(1980・1・20)	金石範『往生異聞』	磯貝治良	19名
第23回	(2・17)	金石範『驟雨』	裴 鐘 眞	14名

第24回	(3・20) 金石範『万徳幽霊奇譚』	みたたみ	14名
第25回	(4・20) 金石範「糞と自由と」		8名
第26回	(6・1) 金石範『1945年 夏』	伊藤俊郎	7名
第27回	(6・22) 討論「金石範の文学について」	蔡 太 吉	10名
第28回	(7・20) 李恢成『われら青春の途上にて』	五十樓達彦	14名
第29回	(8・24) 李恢成「青丘の宿」	川崎恵子	13名
第30回	(9・21) 李恢成「武装するわが子」	服部瑗子	11名
第31回	(10・19) 李恢成『沈黙する海・北であれ南であれわが祖国 I』	磯貝治良	12名
第32回	(11・24) 李恢成「死者の遺したもの」	裴 鐘 眞	13名
第33回	(12・14) 交流会「架橋をめざす集い」		18名

<1981年>

第34回	(1981・1・11) 李恢成『追放と自由』	余 語 潮	11名
第35回	(2・15) 金時鐘『クレメンタインの歌』	羅 順 子	14名
第36回	(3・15) 李恢成『約束の土地』	戸谷龍夫	7名
第37回	(4・19) 李恢成『見果てぬ夢1・禁じられた土地』	磯貝治良	8名
第38回	(5・10) 李恢成『見果てぬ夢2・引き裂かれる日々』	劉 竜 子	10名
第39回	(6・14) 李恢成『見果てぬ夢3・はらからの空』	北村和矢	11名
第40回	(7・12) 李恢成『見果てぬ夢4・七月のサーカス』	磯貝裳子	8名
第41回	(8・9) 李恢成『見果てぬ夢5・燕よなぜ来ない』	戸谷龍夫	12名
第42回	(9・13) 李恢成『見果てぬ夢6・魂が呼ぶ荒野』	蔡 孝	11名
第43回	(10・4) 『見果てぬ夢』の全体像	裴 鐘 眞	12名
第44回	(11・15) 『徐兄弟獄中からの手紙』	伊藤俊郎	16名
第45回	(12・13) 金石範『祭司なき祭り』	浅野久仁子	13名

<1982年>

第46回	(1982・1・10) 梁石日『狂躁曲』	鼓けいこ	11名
第47回	(2・14) 金石範『『在日』の思想』	劉 竜 子	9名
第48回	(3・14) 渡辺吉鎔『朝鮮語のすすめ』	蔡 孝	8名
第49回	(4・25) 高史明『夜がときの歩みを暗くするとき』	裴 鐘 眞	8名
第50回	(5・9) 徐兄弟の母呉己順さんの生涯『朝を見ることなく』	本橋正男	9名
第51回	(6・20) 金達寿『故国まで』	余 語 潮	13名
第52回	(7・20) 成律子『異国への旅』	裴 鐘 眞	7名

第53回	(8・15) 成律子『白い花影』	鼓けいこ	11名
第54回	(9・19) 朴寿南『もう一つのヒロシマ』	吉野尚樹	8名
第55回	(10・17) 成允植『朝鮮人部落』	中山峯夫	6名
第56回	(11・21) 金賛汀『朝鮮人女工のうた』	伊藤啓子	7名
第57回	(12・5) 「架橋」4号合評会	金 蓬 洙	12名

<1983年>

第58回	(1983・1・9) 金蒼生『わたしの猪飼野』	鼓けいこ	11名
第59回	(2・6) 金蒼生さんを囲んで		17名
第60回	(3・6) 金石範『幽冥の肖像』	磯貝治良	8名
第61回	(4・3) 竹田青嗣『<在日>という根拠』	伊藤啓子	8名
第62回	(5・8) 鄭貴文『故国祖国』	津田通夫	9名
第63回	(6・19) 高史明『少年の闇』	安田寛子	7名
第64回	(7・10) 李恢成『サハリンへの旅』	劉 竜 子	10名
第65回	(8・7) 金石範『火山島』Ⅰ	磯貝治良	9名
第66回	(9・11) 金石範『火山島』Ⅱ	磯貝治良	6名
第67回	(10・16) 金石範『火山島』Ⅲ	磯貝治良	9名
第68回	(11・13) 金石範さんを囲む集い	話・金 石 範	35名
第69回	(12・18) 84年にむけて望年会		11名

<1984年>

第70回	(1984・1・22) 李良枝『かずきめ』	蔡 孝	9名
第71回	(2・26) 金時鐘『光州詩片』	裴 鐘 眞	8名
第72回	(3・20) 金鶴泳『郷愁は終わり、そしてわれらはー』	中山峯夫	13名
第73回	(4・22) 高史明『青春無明』	西 尾 斉	11名
第74回	(5・13) 金賛汀『抵抗詩人・尹東柱の死』	伊藤啓子	16名
第75回	(6・17) 「架橋」5号批評会Part1	金 蓬 洙	17名
第76回	(7・15) 「架橋」5号批評会 Part2	大野祐二	18名
第77回	(8・19) 「架橋」5批評合評会 Part3	西 尾 斉	12名
第78回	(9・16) 飯尾憲士『隻眼の人』	松本昭子	11名
第79回	(10・21) 青丘文化ホール・猪飼野訪問	話・辛 基 秀	15名
第80回	(11・18) 李正子歌集『鳳仙花のうた』	話・李 正 子 権 星 子	19名
第81回	(12・23) 一年をふりかえり85年を望む会	劉 竜 子	12名

<1985年>

第82回	(1985・1・20) 尹東柱『空と風と星と詩』	磯貝治良	12名
第83回	(2・24) 宗秋月『猪飼野・女・愛・うた』	山中将幹	13名
第84回	(3・21) 鄭清正『怨と恨と故国と』	磯貝治良	10名
第85回	(4・28) 李良枝『刻』	伊藤啓子	11名
第86回	(5・19) 金泰生『私の間地図』	渡野玖美	14名
第87回	(6・30) 成允植『オモニの壺』	川崎恵子	10名
第88回	(7・28) 「架橋」6号批評会Part1	裴 鐘 眞	15名
第89回	(8・25) 「架橋」6号批評会Part2	山中将幹	13名
第90回	(9・22) 金纓『チマ・チョゴリの日本人』	劉 竜 子	11名
第91回	(10・27) 金泰生『旅人伝説』	磯貝治良	4名
第92回	(11・24) 李起昇『ゼロはん』	西 尾 斉	12名
第93回	(12・21) 一年をふりかえり86年を望む会		13名

<1986年>

第94回	(1986・1・19) 高史明『悲の海へ』	田中康熙	14名
第95回	(2・16) 金容権・李宗良編『在日韓国朝鮮人』	原 科 浩	10名
第96回	(3・16) 飯尾憲士『開聞岳』	磯貝治良	7名
第97回	(4・20) 元静美『ウリハッキョのつむじ風』	劉 竜 子	6名
第98回	(5・18) 金鶴泳『凍える口』	加藤建二	7名
第99回	(7・6) 在日朝鮮新人作品選『狂った友』	裴 鐘 眞	7名
第100回	(8・10) 100回記念 奈良を訪ねて		12名
第101回	(9・21) 金鶴泳『石の道』	裴 鐘 眞	12名
第102回	(11・3) 宗秋月『猪飼野タリョン』話と詩朗読・宗 秋 月	磯貝治良	18名
第103回	(11・30) 「架橋」7号合評会	劉 竜 子	6名
第104回	(12・21) 一年をふりかえて87年を望む会		10名

<1987年>

第105回	(1987・1・25) 金石範『金縛りの歳月』	金 有 子	11名
第106回	(2・22) つかこうへい『広島に原爆を落とす日』	蔡 孝	5名
第107回	(3・29) つかこうへい『戦争で死ねなかったお父さんのために』	磯貝治良	6名
第108回	(4・19) 黄席皙『客地』	山 田 實	10名

第109回	(5・24) 黄皙暎「韓氏年代記」	加藤建二	10名
第110回	(6・21) 郭早苗『父・KOREA』	成真澄	13名
第111回	(7・26) 尹健次『異質との共存』	高見卓男	15名
第112回	(8・23) 京都「パラムの会」と交流		18名
第113回	(9・23) 元秀一『猪飼野物語』	話・元秀一 児玉信哉	25名
第114回	(10・25) 李興燮『アボジがこえた海』	朴裕子	12名
第115回	(11・29) 宗秋月『サランへ』	李誠姫	11名
第116回	(12・6) 読む会10周年記念「表現と交流のマダン」	ハンマダン他	約125名

<1988年>

第117回	(1988・1・24) 「架橋」8号合評会Part1	近藤義男	21名
第118回	(2・21) 「架橋」8号合評会 Part2	檜垣徹	21名
第119回	(3・21) 朴重鎬「回帰」(『民涛』創刊号)	加藤建二	10名
第120回	(4・24) 姜信子『ごく普通の在日韓国人』	金成美	12名
第121回	(5・22) 徐京植『長くきびしい道のり』	加藤誠	14名
第122回	(6・26) 『民涛』2号新人短編小説特集	渡野玖美	13名
第123回	(7・24) 金石範『鴉の死』	井上幸一	12名
第124回	(8・28) 梁澄子・金栄『海を渡った朝鮮人海女』	劉竜子	12名
第125回	(9・25) 金蒼生「赤い実」(『民涛』3号)	児玉信哉	17名
第126回	(10・30) 第6回生野民族文化祭見物		6名
第127回	(11・27) 金香都子『猪飼野路地裏通りゃんせ』	劉竜子	9名
第128回	(12・18) 一年をふりかえり89年を望む会		9名

<1989年>

第129回	(1989・1・29) 『在日芸 民涛』のつどい	話・李恢成	50名
第130回	(2・26) 磯貝治良「在日朝鮮人文学のアイデンティティ」(『民涛』5号)		
		蔡孝	13名
第131回	(3・26) 「架橋」9号合評会Part1	高見卓男	12名
第132回	(4・23) 「架橋」9号合評会Part2	磯貝治良	10名
第133回	(5・28) 『民涛』6号 小説特集	卞元守	9名
第134回	(6・25) 李良枝『由熙』	成真澄	12名
第135回	(7・16) 梁石日『族譜の果て』	磯貝治良	9名
第136回	(8・20/21) 長野県奈川村・歌と遊びのマダン		9名

第137回	(9・17) 金学鉉『民族・生・文学』	話・金学鉉	16名
第138回	(10・22) 金静美「東アジアにおける王制の廃絶について」(『民涛』7号) 磯貝治良「天皇制と文学」(『民涛』7号)	磯貝治良	9名
第139回	(11・26) 「韓国では<在日文学>をどう読んでいるか」(『民涛』8号)	文重烈	6名
第140回	(12・17) 一年をふりかえて90年を望む会		13名

<1990年>

第141回	(1990・1・21) 渡野玖美『五里峠』	磯貝治良	15名
第142回	(2・25) 趙南斗「遠来の客」(『民涛』9号)	磯貝治良	8名
第143回	(3・18) 「架橋」10号合評会Part1	成真澄	10名
第144回	(4・22) 「架橋」10号合評会Part2	劉竜子	11名
第145回	(5・13) 宗秋月「華火」金蒼生「三姉妹」 イ・カンオン「夜の方舟」	加藤建二	7名
第146回	(6・10) 卞元守宅にて焼肉マダンに参加		7名
第147回	(7・20) 梁石日『アジア的身体』	加藤誠	8名
第148回	(8・19/20) 長野県奈川村 歌の遊びのマダン		4名
第149回	(9・23) 成美子『歌舞伎町ちんじゃら行進曲』	卞元守	11名
第150回	(10・14) 金石範『故国行』	裴聖哲	8名
第151回	(11・25) 趙南哲詩集『樹の部落』	文重烈	10名
第152回	(12・23) 一年をふりかえり91年を望む会		12名

<1991年>

第153回	(1991・1・13) つかこうへい『娘に語る祖国』	成真澄	9名
第154回	(2・17) 尹健次『孤絶の歴史意識』	磯貝治良	7名
第155回	(3・24) 金重明『幻の大国手』	加藤建二	7名
第156回	(4・21) 「架橋」11号合評会Part1	卞元守	11名
第157回	(5・19) 「架橋」11号合評会Part2	間瀬昇	14名
第158回	(6・30) 梁石日『夜の河を渡れ』	井上幸一	11名
第159回	(7・21) 朴重鎬『濤木』	成真澄	7名
第160回	(8・25) 李正子歌集『ナグネタリョン』	劉竜子	12名
第161回	(10・13) 皇甫任『十一月のほうせん花』	磯貝治良	6名
第162回	(11・24) 『柳基洙作品集』	加藤建二	7名

第163回 (12・22) 一年をふりかえり92年を望む会集い 15名

<1992年>

第164回 (1992・1・26) 朴慶南『クミヨ』 話・朴慶南 13名  
第165回 (2・23) 金石範『万徳幽霊奇譚』 井上幸一 9名  
第166回 (3・22) 香山末子詩集『鶯の啼く地獄谷』 文重烈 9名  
第167回 (4・26) 伊集院静『海峡』 裊聖哲 7名  
第168回 (5・17) 「架橋」12号合評会Part1 西尾斉 10名  
第169回 (6・14) 「架橋」12号合評会Part2 間瀬昇 10名  
第170回 (7・12) 梁石日『子宮の中の子守唄』 中山峯夫 7名  
第171回 (8・30) 磯貝治良『戦後日本文学のなかの朝鮮韓国』 成真澄 9名  
第172回 (10・4) 李恢成『流域へ』 間瀬昇 10名  
第173回 (11・1) 架橋を求めて一民族・文化・共生のマダン  
第一部 講演と話・金石範 磯貝治良  
第二部 マダン劇・マダンノリペ緑豆(ノクトウ) 110名  
第174回 (11・29) 尹健次『<在日>を生きるとは』(岩波書店) 卞元守 8名  
第175回 (12・23) 一年をふりかえり1993年を望むつどい 14名

<1993年>

第176回 (1993・1・24) 金在南『鳳仙花のうた』 磯貝治良 6名  
第177回 (2・28) マダンノリペ緑豆第2回公演を観る 80名  
第178回 (3・21) 宮田節子・金英達・梁泰昊『創氏改名』 西尾斉 5名  
第179回 (4・18) 庾妙達詩集『李朝白磁』 金節子 10名  
第180回 (5・16) 李良枝『石の聲』 加藤建二 12名  
第181回 (6・6) 朴明子『わたしはいつもまわり道』 成真澄 12名  
第182回 (7・11) 深沢夏衣『夜の子供』 成真澄 16名  
第183回 (8・29) 柳美里『魚の祭』 ムン トンヂャ 17名  
第184回 (9・26) 金泰生『紅い花』 浅野文秀 15名  
第185回 (10・31) 「架橋」13号合評会Part1 趙眞良 18名  
第186回 (11・21) 「架橋」13号合評会Part2 藤本由紀子 15名  
第187回 (12・26) 一年をふりかえって1994年を望むつどい 18名

<1994年>

第188回	(1994・1・23) 鄭承博著作集『裸の捕虜』	加藤建二	11名
第189回	(2・20) 金石範『転向と親日派』	卞元守	7名
第190回	(3・20) 李相琴『半分のふるさと』	文真弓	15名
第191回	(4・17) 黄民基『奴らが哭くまえに』	成真澄	10名
第192回	(5・15) 崔龍源詩集『鳥はうたった』	卞元守	7名
第193回	(6・12) 鷺沢萌『ケナリも花 サクラも花』	浅野文秀	10名
第194回	(7・31) 鄭承博著作集『ある日の海峡』	西尾斉	5名
第195回	(8・28) 李恢成『青丘の宿』	磯貝治良	8名
第196回	(9・25) 「架橋」14号合評会part1	趙眞良	14名
第197回	(10・16) 磯貝治良『イルボネ チャンピョク』出版記念マダン 第一部 磯貝治良の話とフリートーク 第二部 ノリマダン「マダンノリペ緑豆」のマダン劇など		38名
第198回	(11・17) 「架橋」14号合評会part2		10名
第199回	(12・25) 一年をふりかえり1995年を望むつどい		14名

<1995年>

第200回	(1995・1・22) 在日朝鮮人文学を読む会200回記念大討論 マダン「在日のいま、日本人のいまーそしてわたしたちがめざすもの」		49名
第201回	(2・19) 李恢成『百年の旅人たち』上巻	磯貝治良	5名
第202回	(3・19) 李恢成『百年の旅人たち』下巻	磯貝治良	12名
第203回	(4・30) 磯貝治良「テハギは旅人 <sup>ナグネ</sup> のままと」	文真弓	10名
第204回	(5・28) 梁石日『夜を賭けて』	西尾斉	10名
第205回	(6・25) 梁石日『修羅を生きる』	報告者・金徳順	参加者13名
第206回	(7・30) 鄭承博『ゴミ捨て場』	報告者・磯貝治良	参加者7名
第207回	(8・27) 金石範『夢、草深し』	報告者・間瀬昇	参加者12名
第208回	(9・24) 『架橋』15号合評会/PART1	報告者・加藤建二	参加者11名
第209回	(10・29) 『架橋』15号合評会/PART2	報告者・間瀬昇	参加者10名
第210回	(11・26) 『架橋』15号合評会/PART3	報告者・文真弓	参加者8名
第211回	(12・17) 一年をふりかえり1996年を望むつどい		参加者13名

<1996年>

第212回	(1996・1・21) 呉林俊『記録なき囚人』	報告者・磯貝治良	参加者7名
-------	-------------------------	----------	-------



第213回	(2・18) 香山末子詩集『青いめがね』	報告者・文 真 弓	参加者10名
第214回	(3・24~27) 1996年春－韓国ふれあいの旅		参加者6名
第215回	(4・28) 朴重鎬『消えた日々』	報告者・磯貝治良	参加者11名
第216回	(5・26) 梁石日『闇の想像力』	報告者・卞 元 守	参加者9名
第217回	(6・30) 金真須美『メソッド』	報告者・裴 聖 哲	参加者11名
第218回	(7・28) 趙南哲詩集『あたたかい水』	報告者・磯貝治良	参加者11名
第219回	(8・25) 李龍海詩集『ソウル』	報告者・鄭 喜 順	参加者6名
第220回	(9・29) 『架橋』16号合評会／PART1	報告者・岩田たまき	参加者9名
第221回	(10・27) 磯貝治良『在日疾風純情伝』出版記念の集い		
		話・磯貝治良＋フリートーク＋歌	参加者34名
第222回	(11・24) 『架橋』16号合評会／PART2	報告者・李家美代子	参加者4名
第223回	(12・23) 一年をふりかえり1997年を望むつどい		参加者12名

<1997年>

第224回	(1997・1・19) 李恢成『死者と生者の市』	報告者・磯貝治良	参加者8名
第225回	(2・16) 柳美里『フルハウス』	報告者・間 瀬 昇	参加者14名
第226回	(3・30) 金石範『地の影』	報告者・張 洛 書	参加者8名
第227回	(4・27) 梁石日『Z』	報告者・磯貝治良	参加者5名
第228回	(5・25) 李恢成『時代と人間の運命』エッセー一篇		
		報告者・間 瀬 昇	参加者6名
第229回	(6・22) 竹田青嗣『「在日」という根拠』	報告者・加藤建二	参加者8名
第230回	(7・27) 柳美里『水辺のゆりかご』	報告者・和田京子	参加者11名
第231回	(8・24) 元秀一『AV・オデッセイ』	報告者・文 真 弓	参加者6名
第232回	(9・28) 申有人『狼林記』	報告者・卞 元 守	参加者7名
第233回	(10・26) 『架橋』17号合評会／PART1	報告者・加藤建二	参加者8名
第234回	(11・24) 『架橋』17号合評会／PART2	報告者・裴 聖 哲	参加者7名
第235回	(12・7) 在日朝鮮人作家を読む会20周年記念のつどい		
	「<在日>交流と表現のマダン」		
	第一部 講演・金石範氏	第二部 ノリマダン	参加者60名
第236回	(12・21) 一年をふりかえり1998年を望むつどい		参加者9名

<1998年>

第237回	(1998・1・18) 賈島憲治『雨森芳洲の涙』	報告者・磯貝治良	参加者8名
-------	--------------------------	----------	-------

第238回	(2・15) 渡野玖美『帰る家』	報告者・李家美代子	参加者12名
第239回	(3・29) 鷺沢萌『君はこの国が好きか』	報告者・岩田多万亀	参加者9名
第240回	(4・26) 姜琪東『身世打鈴』	報告者・間瀬昇	参加者8名
第241回	(5・31) 李正子『葉桜』	報告者・李家美代子	参加者10名
第242回	(6・28) 梁石日『血と骨』	報告者・加藤建二	参加者9名
第243回	(7・26) 金時鐘『草むらの時』	報告者・卞元守	参加者10名
第244回	(8・27) マダン劇「四月、漢拏山」観劇		参加者1名
第245回	(9・27) 『架橋』18号合評会 PART1	報告者・張洛書	参加者6名
第246回	(10・25) 『架橋』18号合評会 PART2	報告者・劉竜子	参加者9名
第247回	(11・22) 『架橋』18号合評会 PART3	報告者・張洛書	参加者10名
第248回	(12・20) 一年をふりかえり1999年望む望年会		参加者17名

<1999年>

第249回	(1999・1・17) 金達寿『わが文学と生活』	報告者・磯貝治良	参加者8名
第250回	(2・28) 金時鐘詩集『化石の夏』	報告者・卞元守	参加者8名
第251回	(3・28) 柳美里『ゴールドラッシュ』	報告者・劉竜子	参加者8名
第252回	(4・25) 徐京植『子どもの涙』	報告者・李潤一	参加者12名
第253回	(5・9) 山崎真『チマ・チョゴリの国から』	報告者・山崎真	参加者10名
第254回	(6・27) 金史良『光の中に』	報告者・磯貝治良	参加者10名
第255回	(7・25) 李恢成『時代と人間の運命』対論篇	報告者・卞元守	参加者10名
第256回	(8・22) 金満里『生きることのはじまり』	報告者・大泉幸子	参加者11名
第257回	(9・26) 『架橋』19号合評会 PART1	報告者・成康秀	参加者11名
第258回	(10・24) 『架橋』19号合評会 PART2	報告者・磯貝治良	参加者6名
第259回	(11・21) 『架橋』19号合評会 PART3	報告者・朴燦鎬	参加者10名
第260回	(12・23) 一年をふりかえり2000年を望む望年会		参加者10名

<2000年>

第261回	(2000・1・23) 李淳駟『もう一人の力道山』	報告者・加藤強	参加者6名
第262回	(2・20) 金蓮花『舞姫打鈴』	報告者・李潤一	参加者6名
第263回	(3・26) 尹健次『日本国民論』	報告者・磯貝治良	参加者6名
第264回	(4・23) 朴一『<在日>という生き方』	報告者・裒聖哲	参加者10名
第265回	(5・21) 玄月『蔭の棲みか』	報告者・間瀬昇	参加者9名
第266回	(6・25) 金石範『海の底から 地の底から』	報告者・加藤建二	参加者8名

第267回	(7・23) 金嬉老『われ生きたり』	報告者・卞元守	参加者7名
第268回	(8・27) 徐京植対話集『新しい普遍性へ』	報告者・成康秀	参加者6名
第269回	(9・24) 河信基『代議士の自決』	報告者・加藤建二	参加者8名
第270回	(10・22) 『架橋』20号合評会 PART1	報告者・卞元守	参加者6名
第271回	(11・26) 『架橋』20号合評会 PART2	報告者・劉童子	参加者6名
第272回	(12・24) 一年をふりかえり2001年を望む望年会		参加者10名

<2001年>

第273回	(2001・1・28) 金城一紀『GO』	報告者・加藤建二	参加者9名
第274回	(2・25) 金重明『阜の民』	報告者・磯貝治良	参加者6名
第275回	(3・25) 柳美里『命』	報告者・卞元守	参加者6名
第276回	(4・22) 玄月『悪い噂』	報告者・加藤強	参加者7名
第277回	(5・20) 尹健次『「在日」を考える』	報告者・加藤建二	参加者5名
第278回	(6・24) 金在南『遥かなり 玄海灘』	報告者・間瀬昇	参加者7名
第279回	(7・22) 梁石日『死は炎のごとく』	報告者・磯貝治良	参加者5名
第280回	(8・26) 宮本徳蔵『海虹妃』	報告者・西尾斉	参加者10名
第281回	(9・23) 金時鐘『「在日」のはざままで』	報告者・劉童子	参加者9名
第282回	(10・11) 『架橋』21号合評会 PART1	報告者・加藤建二	参加者7名
第283回	(11・25) 『架橋』21号合評会 PART2	報告者・卞元守	参加者10名
第284回	(12・16) 一年をふりかえり2002年望む望年会		参加者7名

<2002年>

第285回	(2002・1・27) 金石範『満月』	報告者・磯貝治良	参加者4名
第286回	(2・17) 金石範『新編「在日」の思想』	報告者・張洛書	参加者6名
第287回	(3・24) 賈島憲治『雨森芳洲の運命』	報告者・間瀬昇	参加者9名
第288回	(4・28) 岩田たまき『霧晴るる日まで』	報告者・西尾斉	参加者7名
第289回	(5・19) 金石範・金時鐘『なぜ書きつづけてきたか、なぜ沈黙してきたか』	報告者・卞元守	参加者7名
第290回	(6・23) 磯貝治良ほか『金達寿ルネッサンス 文学・歴史・民族』	報告者・磯貝治良	参加者8名
第291回	(7・28) 李恢成『可能性としての「在日」』	報告者・加藤建二	参加者6名
第292回	(8・25) 梁石日『魂の流れゆく果て』	報告者・加藤強	参加者6名
第293回	(9・22) 梁石日『終りなき始まり』	報告者・間瀬昇	参加者5名

第294回	(10・20) 『架橋』22号合評会 PART1	報告者・朴 燦 鎬	参加者9名
第295回	(11・24) 『架橋』22号合評会 PART2	報告者・張 絡 書	参加者9名
第296回	(12・22) 一年をふりかえり2003年を望む望年会		参加者9名

<2003年>

第297回	(2003・1・26) 徐京植『半難民の位置から一戦後責任論争と在日朝鮮人』	報告者・磯貝治良	参加者2名
第298回	(2・23) 柳美里『石に泳ぐ魚』	報告者・磯貝治良	参加者8名
第299回	(3・23) 金石範『虚日』	報告者・加藤建二	参加者8名
第300回	(4・27) 梁石日『闇の子供たち』	報告者・磯貝治良	参加者7名
第301回	(6・22) 徐京植『過ぎ去らない人々』	報告者・卞 元 守	参加者12名
第302回	(8・24) 玄月『おしゃべりな犬』	報告者・中島和弘	参加者13名
第303回	(9・28) 『架橋』23号合評会 PART1	報告者・裴 東 喆	参加者8名
第304回	(10・26) 『架橋』23号合評会 PART2	報告者・金 三 宝	参加者15名
第305回	(12・14) 鷺沢萌『私の話』	報告者・磯貝治良	参加者9名

<2004年>

第306回	(2004・2・22) 国本衛『生きる日 燃ゆる日』	報告者・卞 元 守	参加者10名
第307回	(4・25) 趙南哲詩集『グッバイ アメリカ』	報告者・加藤建二	参加者8名
第308回	(6・27) 趙博『ぼくは在日関西人』	報告者・左近明子	参加者9名
第309回	(8・22) 徐京植『プリーモ・レーヴィへの旅』	報告者・磯貝治良	参加者9名
第310回	(9・19) 「変容と継承ー在日文学はいま」ー 『<在日>文学論』出版のつどい ①話・磯貝治良+参加者フリートーク ②ノリマダン(多数のグループ、個人が友情出演)		参加者80名
第311回	(10・24) 磯貝治良『<在日>文学論』	報告者・立花 涼	参加者13名
第312回	(11・28) 姜尚中『在日』	報告者・中島和弘	参加者15名
第313回	(12・26) 金石範ほか『在日を生きる思想』	報告者・原田芳裕	参加者8名

<2005年>

第314回	(2005・1・23) 丁章詩集『闊歩する在日』	報告者・林 安 沢	参加者9名
第315回	(2・27) 鷺沢萌『ビューティフル・ネーム』	報告者・浮葉正親	参加者11名
第316回	(3・27) 金時鐘『わが生と詩』	報告者・立花 涼	参加者8名
第317回	(4・24) 『架橋』24号合評会 PART1	報告者・劉 竜 子	参加者8名

第318回	(5・22) 『架橋』24号合評会 PART2	報告者・立花 涼	参加者7名
第319回	(6・19) 柳美里『8月の果て』	報告者・浮葉正親	参加者12名
第320回	(7・24) 玄月『異物』	報告者・立花 涼	参加者13名
第321回	(8・28) 李恢成『地上生活者』第1部「北方からきた愚者」	報告者・加藤建二	参加者7名
第322回	(9・25) 李恢成『地上生活者』第2部「未成年の森」	報告者・中島和弘	参加者12名
第323回	(10・23) 森田進・佐川亜紀編『在日コリアン詩選集』	報告者・立花 涼	参加者10名
第324回	(11・27) 『在日コリアン詩選集』Part2	報告者・中島和弘	参加者11名
第325回	(12・25) 『在日コリアン詩選集』Part3	報告者・原田芳裕	参加者8名

<2006年>

第326回	(2006・1・22) 『架橋』25号合評会 Part1	報告者・林 安 沢	参加者11名
第327回	(2・26) 『架橋』25号合評会 Part2	報告者・加藤建二	参加者6名
第328回	(3・26) 李恢成『四季』	報告者・劉 竜 子	参加者8名
第329回	(4・23) 高史明『闇を喰む』1	報告者・浮葉正親	参加者13名
第330回	(5・28) 高史明『闇を喰む』2	報告者・浮葉正親	参加者10名
第331回	(6・25) 梁石日『異邦人の夜』	報告者・中島和弘	参加者8名
第332回	(7・23) 李正子歌集『マッパラムの丘』	報告者・林 安 沢	参加者6名
第333回	(8・27) 金村義明『在日魂』	報告者・林 安 沢	参加者10名
第334回	(9・24) 崔碩義『黄色い蟹』	報告者・立花 涼	参加者10名
第335回	(10・22) 金英子歌集『サラン』	報告者・沢田侑子	参加者9名
第336回	(11・26) テーマ「金素雲の訳詩集」『朝鮮詩集』はなぜ「日本文学史」に記載されないか」	報告者・立花 涼	参加者6名
第337回	(12・17) テーマ「<在日>文学と巫俗 (1) 宗秋月」	報告者・浮葉正親	参加者8名

<2007年>

第338回	(2007・1・28) テーマ「日本の戦後文学における<在日>の意義 — 李恢成を中心に」	報告者・梁 明 心	参加者11名
第339回	(2・25) テーマ「金石範『火山島』を読む」	報告者・呉 恩 英	参加者8名
第340回	(3・25) 名古屋大学留学生センターオープンフォーラム		

	「在日文学の時代 — 作家・磯貝治良氏を迎えて」		
	講演・磯貝治良	コメント・尹健次 立花涼	参加者45名
第341回	(4・22) 金石範『地底の太陽』	報告者・張 絡 書	参加者8名
第342回	(5・27) 『架橋』26号合評会	報告者・劉 竜 子	参加者8名
第343回	(6・24) テーマ「<在日>文学の女性作家・詩人」		
		報告者・磯貝治良	参加者7名
第344回	(7・22) テーマ「金時鐘の詩が語るもの」	報告者・浅見洋子	
	「李恢成の初期作品について」 報告者・梁 明 心		参加者14名
第345回	(8・26) テーマ「<在日>文学の短歌について」	報告者・林 安 沢	参加者6名
第346回	(9・16) 黄英治『記憶の火葬』	報告者・浮葉正親	参加者9名
第347回	(10・28) テーマ「尹東柱とマルク・シャガール」	報告者・姜 信 和	参加者10名
第348回	(11・25) テーマ「尹東柱の詩を読む」	報告者・中島和弘	参加者9名
第349回	(12・16) 「在日朝鮮人作家を読む会30周年あれこれ」		
		報告者・磯貝治良	参加者14名
＜2008年＞			
第350回	(2008・1・27) 磯貝治良『夢のゆくえ』	報告者・金 貞 恵	参加者13名
第351回	(2・24) 玄月『眷族』	報告者・立花 涼	参加者7名
第352回	(3・23) 在日朝鮮人作家を読む会30周年記念マダン		
	「<在日>文学と読む会の30年—何を読み、語り、表現してきたのか？」		
	第1部・読む会の30年とこれからを語る（参加者）		
	第2部・ノリマダン（ノリパン出演）		参加者55名
第353回	(4・27) 『架橋』27号合評会PART1	報告者・浮葉正親	参加者10名
第354回	(5・25) 『架橋』27号合評会PART2	報告者・立花 涼	参加者10名
第355回	(6・15) テーマ「金時鐘『日本風土記』論—<残存>する記憶」		
		報告者・浅見洋子	参加者11名
第356回	(7・19～20) 奈川・若草物語合宿		参加者6名
第357回	(8・24) テーマ「<父殺し>の意味するもの—梁石日とマグレブ系		
	伝説作家の比較を通して」 報告者・細井綾女		参加者7名
第358回	(9・28) テーマ「チマ・チョゴリに表われる表象」	報告者・呉 恩 英	参加者12名
第359回	(10・26) 康玲子『私には浅田先生がいた』	報告者・谷口祐美子	参加者4名
第360回	(11・16) 尹健次『思想体験の交錯—日本・韓国・在日1945年以後』		
		報告者・立花 涼	参加者6名

第361回 (12・21) 梁英姫『ディア・ピョンヤン』 報告者・林 安 沢 参加者10名

<2009年>

第362回 (2009・1・25) 主題「在日韓国朝鮮人と日本人の協働関係」  
報告者・安田純也 参加者11名

第363回 (2・22) 李建志『日韓ナショナリズムの解体－複数のアイデンティティを  
生きる思想』 報告者・浮葉正親 参加者8名

第364回 (3・22) 小熊英二・姜尚中編『在日一世の記憶』 報告者・許 長 順 参加者9名

第365回 (4・26) 徐勝『誰にも故郷コヒョクはあるものだ』 報告者・立花 涼 参加者7名

第366回 (5・17) 『架橋』28号合評会PART1 報告者・林 安 沢 参加者7名

第367回 (6・21) 『架橋』28号合評会PART2 報告者・林 安 沢 参加者10名

第368回 (7・26) 『架橋』28号合評会PART3 報告者・林 安 沢 参加者9名

第369回 (8・23) 李恢成『地上生活者 第3部「幻像」』 報告者・吉原ゆう子 参加者8名

第370回 (9・27) 丁章『サラムの在りか』 報告者・立花 涼 参加者14名

第371回 (10・25) 尹健次詩集『冬の森』 報告者・立花 涼 参加者13名

第372回 (11・22) 金時鐘再訳『朝鮮詩集』 報告者・中島和弘 参加者10名

第373回 (12・27) 金夏日歌集『一族の墓』 報告者・林 安 沢 参加者16名

<2010年>

第374回 (2010・1・24) 立花 涼『ポスト構造主義物語論－  
玄月『眷族』をめぐる思考のエチカ』 報告者・浮葉正親 参加者11名

第375回 (2・28) 玄月『めくるめく部屋』 報告者・林 安 沢 参加者11名

第376回 (3・28) 金達寿『玄海灘』 報告者・林 安 沢 参加者9名

第377回 (4・25) 主題「在日朝鮮人2世作家李恢成の作品から見る歴史認識」  
報告者・吉原ゆう子 参加者8名

第378回 (5・23) 『架橋』29号合評会PART1 報告者・谷口祐美子 参加者9名

第379回 (6・20) 『架橋』29号合評会PART2 報告者・立花 涼 参加者8名

第380回 (7・25) 金石範『鴉の死』 報告者・浮葉正親 参加者8名

第381回 (8・22) 金時鐘四時詩集『失くした季節』 報告者・浅見洋子 参加者6名

第382回 (9・26) 李恢成『流域へ』 報告者・吉原ゆう子 参加者5名

第383回 (10・24) 『植民地主義の暴力－「ことばの檻」から』  
報告者・立花 涼 参加者11名

第384回 (11・28) 梁石日『めぐりくる春』 報告者・谷口祐美子 参加者7名

第385回 (12・26) 金贊汀『韓国併合百年と「在日」』 報告者・林 安 沢 参加者13名

<2011年>

第386回 (2011・1・23) 金石範『死者は地上に』 報告者・小荒さち子 参加者12名

第387回 (2・27) 康宗憲『死刑台から教壇へ——私が体験した韓国現代史』  
報告者・浮葉正親 参加者7名

第388回 (3・27) 姜尚中『母 オモニ』 報告者・許 長 順 参加者8名

第389回 (4・24) 伊集院静『お父やんとオジさん』 報告者・加藤 誠 参加者7名

第390回 (5・22) 『架橋』30号合評会PART 1 報告者・浮葉正親 参加者9名

第391回 (6・26) 『架橋』30号合評会PART 2 報告者・林 安 沢 参加者7名

第392回 (7・24) 『架橋』30号合評会PART 3 報告者・林 安 沢 参加者9名

第393回 (8・28) 崔龍源詩集『人間の種族』 報告者・浮葉正親 参加者6名

第394回 (9・25) 金石範『金石範《火山島》小説世界を語る』  
報告者・磯貝治良 参加者9名

第395回 (10・23) 磯貝治良『在日疾風純情伝』 報告者・太田道子 参加者9名

第396回 (11・27) 主題発表「金史良「草深し」について」 報告者・朴 正 伊 参加者10名

第397回 (12・25) 金鶴泳『凍える口』 報告者・中島和弘 参加者8名

<2012年>

第398回 (2012・1・22) 李恢成『地上生活者 第4部 痛苦と感銘』  
報告者・尹 健 次 参加者8名

第399回 (2・26) 宗秋月『猪飼野・女・愛・うた』 報告者・許 長 順 参加者7名

第400回 (3・25) 金泰生『骨片』 報告者・林 安 沢 参加者 名